

生活科学系コンソーシアム会議（第1回：発会式）議事録

日時：平成19年7月18日（水） 10：30～12：00

場所：日本学術会議5-A会議室（1）

出席者：コンソーシアム構成学会より下記5名

- 日本食品衛生学会（井部明広常任理事）
- 国際服飾学会（田中俊子運営委員）
- 日本消費者教育学会（大藪千穂評議員）
- 日本調理科学会（和田淑子前会長）
- 日本栄養・食糧学会（近藤和雄理事）

日本学術会議 健康・生活科学委員会 生活科学分科会委員 8名

江澤郁子委員、春日文子委員、片山倫子委員、佐藤和人委員、
渋川祥子委員、白澤政和委員、塚原典子委員、御船美智子委員（五十音順）

事務局：神代参事官、渡邊、友野 他2名（敬称略）

資料：生活科学分科会（第7回）議事次第、対外報告-学協会の機能強化のために、
生活科学系コンソーシアム 規則骨子（案）

議事内容

1. 生活科学系コンソーシアム（仮称）の設立に関する件（生活科学分科会 片山委員長）

- 生活科学系コンソーシアム（仮称）入会学会の報告（現時点：9学会）

日本生活学会	(社)日本食品衛生学会	(社)日本栄養・食糧学会
日本調理科学会	日本衣服学会	日本消費者教育学会
国際服飾学会	(社)日本家政学会	日本家庭科教育学会
- 創立にあたって立ち上げの趣旨についての説明等
 - (1) 日本学術会議と学協会との関係について
 - ・資料-対外報告-学協会の機能強化のために-日本学術会議と学協会との関係（p10.の8. 公式文書）に則った形で本コンソーシアムを立ち上げたい
 - ・各学協会と親密な関係を持ちながらシンポジウム、調査研究等行っていきたいと考えている

2. 規則骨子（案）について（生活科学分科会 片山委員長）

- 訂正箇所について
 - [組織] 第5条 1 事務局長→事務担当委員
 - 2 運営委員会を置く→運営委員会を置くことができる。
- 構成について
 - [構成] 第3条 ①生活科学系学会・・・9学会（現時点）
 - ②生活科学分科会委員・・・11名
- 組織 第5条 1 に関する提案

当面の間、本コンソーシアム立ち上げ運営のため下記4名を推薦させていただきたい旨の提案があり承認された

 - ・コンソーシアム会長 渋川分科会委員
 - ・会計担当委員 沖田分科会委員
 - ・監事 春日分科会委員

・事務担当委員 塚原分科会委員

- 規則骨子（案）については、今後適宜検討していくことを前提として承認された

以上を以て生活科学系コンソーシアム立ち上げとなった
これより議事進行（司会）は、渋川コンソーシアム会長が担当

3. 出席5学会の自己紹介（活動状況等）

- 国際服飾学会
会員数；約250名（美学、歴史の研究者等）
活動内容等；学会誌2回/年発行、研究会2回/年、4分科会毎月1回、会報2回/年、研修旅行など
- 日本消費者教育学会
会員数；約530名（小中高教員、企業等）
活動内容等；学会誌1回/年発行、研究大会1回/年、支部（2～3回研究発表）間の交流、大学生対象消費者セミナー実施など
- (社)日本栄養・食糧学会
会員数；約3300名（農・生活科学系学部、食品会社他）
栄養・食品・医学系に属する学会
活動内容等；学会誌6回/年発行、ビタミン学会と連携（英文誌）6回/年発行
総会1回/年、支部会（7支部）各支部大会2回/年、関東支部大会4回/年など
- 日本調理科学会
会員数；約1650名（調理・食生活に関する研究者他）
活動内容等；学会誌6回/年発行、総会1回/年、6支部、学会主導で特別研究を実施（全国規模；例）災害時のメニュー開発について）
- (社)日本食品衛生学会
会員数；約1600名（試験検査機関を中心に食品会社他）
活動内容等；学会誌6回/年発行、総会1回/年、学術講演会2回/年（春、秋）

4. 分担金について

- 会長より、当面の活動費（連絡費等）として構成学会より分担金を徴収し、実際の活動（シンポジウム開催など）時には、そのつど応分の負担をしてはとの提案がなされた。
出席の構成学会より意見が出され、審議の結果、各学会の規模等に応じて一口以上（一口5000円）とした。口数については、各学会に持ち帰って検討することに決定
但し、活動する際の費用は、応分の負担とする

5. 本コンソーシアム入会のメリットの確認・・・（構成学会の各先生より、分担金の検討に際し、本コンソーシアム入会のメリットを明確にして欲しいとの要望がでたため）

- メリット
 - ・ 学術会議と学協会との相互のパイプとしての役割（学術会議との連携の窓口）
 - ・ 行政に対する提言等の橋渡し
 - ・ 学協会の連携（協同してさまざまな側面から活動する）を図り社会へ還元できる活動の推進など
- 当面の対応
 - ・ 生活科学分科会の議事録を構成学会に配信することに決定
なお、春日分科会委員から、配信されたものは是非、各学会の一般会員に届け

て頂きたいとの要望がでた

- ・ 健康・生活科学委員会議事録については、委員会の了承を得る必要があるため現時点では保留となる

6. 今後の活動について

各構成学会がコンソーシアムを通してどのような活動を行っていきたいか、または具体的な活動とそのテーマ、学術会議への要望など、各学会から提案し、次回会議から検討を進めていくことになる

⇨ 提案締め切り 9月10日(月)

渋川会長へメールにて提出

7. その他

- 現在立ち上がっているコンソーシアム等の現状についての質問(大藪先生)
白澤分科会委員より社会福祉学系協議会および社会学コンソーシアムの現状について説明を受けた
また、春日分科会委員より日本微生物学連盟、日本看護系学会協議会が立ちあがっており、公衆衛生学関連の学協会、健康・スポーツ科学関連の学協会の連合が検討されているとの報告を受けた
- 次回会議日程
日時：10月17日(水) 10:30~12:00に決定
議題：各分野からの提案、今後の方針 他

以上